

道東地区教会連合会機関誌



道東 こ う ほ う 光 報



'DOTOUKOHOU', Journal of KONKOUKYOU East Hokkaido reg., No.14, Apr., 2005

巻頭言

道東地区教会連合会長 矢代千春

これまでも学者の方を招いてお話を聞く、また、教師仲間でも、学識のある方が講師になることが多かったと思います。宗教の世界でも学問は必要です。しかし、人が救われる、助かるというのは学問の仕事ではないようです。

人間は、生まれながらに、自ら助かるうとする働きをもっています。よく食べ、よく眠り、危険を避け、楽しいことを求め、その上に、他人を助けようとする性質を知らず知らずのうちに養っているものです。これを普通は本能といっています。

私たちは、教祖様の教えによつて、人のことを祈り、他人でも困っている人を助けようという心がけています。これは学問のあるなしに関係ない、強いて言えば神様の働きでありましょう。

ところが、宗教とは畑違いの学問、生物学、医学などの進歩が、こんにち到達したところでは、人体を創っている約六千兆の「細胞」は、一個の単体では生きられず、他の細胞と一緒にでないと、生まれてすぐ死んでしまうことを発見したのです。学問の恐るべき成果と申すべきでしょう。

数え切れなく生まれては排泄され、また、生まれては人体を支えている細胞は、数多くのグループを作り、人体を生かし、免疫となり、病気を難を防ぎ、生命を保つ努力をしているのです。金光教祖様は、すでにこのことを察して、他者との共生を中心にした教えを多く下さったのだと思います。

このことから考えれば、「あいよかけよ運動」は、まさに現代の最高の科学に対応する文化としての宗教の実践だと言えるでしょう。北方の数少ない教会連合会ですが、混沌とした現代社会にあって、金光教祖様のご信心が、世界人類の未来を見通した教えを伝えられたことをしっかりと認識して、祈念、対話、実践を一層進めてまいりましょう。

あいよかけよの生活運動

願い

わが心の神にめざめ
祈り、対話、行動をもって
神を現す生活を進め
共に助かる世界を生み出そう



金光教

網走教会

網走市北四条西一丁目六番地
TEL 〇一五五 四三 三九五四
TEL 〇一五五 四三 三九五四
FAX 〇一五五 四三 三九五四

今年も北海道に活動の季節が到来した。雪解けの季節。春である。

教会でもこの春を待ってましたと言わんばかりに諸行事の計画が慌ただしく立てられる。大祭交流、味噌造り、廃油石けん造り、チャリティーバザー等々。

毎年行われるこれらのことも、天地自然が刻々とその様相を変化させるのと同様に、同じ行事をしていながら、時代の変化もあり、まったく同じ行事と言うことにはならない。そうしたことから、それらの行事には、その度毎に常に新しい発見がある。

色々な行事を取り進める中で、マンネリ化ということがよく言われるが、良き

につけ悪きにつけ、日々の変化、年々の変化、行事毎の変化を楽しむことが出来れば、マンネリ化ということもなくなるのだらう。

今年も十勝教会を皮切りに春のご大祭が道東各地区で仕えられるが、教師も信徒もご大祭のマンネリ化にならないように気をつけたいものである。

帯広教会

帯広市東四条南八丁目四番地
TEL 〇一五五 二二三 六八三五
FAX 〇一五五 二二三 六八三五

「掲示板」について

金光大神の信心を末信奉者の人たちに伝える方法にはいろいろあります。本部ではラジオ放送、テレビCM、金光新聞(神様ありがとう)、パンフレット等の配布によって布教活動がなされています。しかし、地方教会においては人材、費用の面で大変なところがあります。

そこで、それぞれ各教会では工夫をされていると思いますが、地域密着型といえますか、そして費用がかからない「掲示板」を帯広教会では利用しています。三ヶ月に二回ぐらいのペースで生活行事や季節にあつた内容をみ教えと共にポスター用紙の裏に書いて掲示しています。教会前にはバス停があり、高校生の通学路にもなっており、また交差点の信号待ちで車が停車します。このような場合に少しでも読んで頂ければと、大きな字となるべく短い言葉で表現しています。時には、末信奉者の方が、み教えを参考にしたいと来られたこともあります。少しでも「掲示板」がお役に立てれば有難いことだと思ひ、続けていきたいと考えています。帯広教会天地金乃神大祭は四月二十四日(日)午前十一時三十分より執り行います。

釧路教会

釧路市宮本一丁目五番二二号
TEL 〇一五四 四一 一三五
FAX 〇一五四 四一 一三六一

「社会に開かれた教会」とか「社会との接点としての教会」とか言われて久しいが、どうも、そういうイメージの教会になっていないように思う。逆に言うて、「社会に開かれた教会」とか「社会との接点としての教会」とは、どんな教会なのだろうか。形から、教祖様のところまで「戸閉てずにいた」とあつて、四六時中戸が開いている教会のイメージもあつたが、教祖様の時代は、なんとなく共同社会の仕組みがあつて、「あそこへ行けばそういう家がある」と、皆知っていた。だが、今の時代は「泥棒を助長する」と、警察から叱られる。仮に、人間の態勢を整えてコンビニのように開けていても、強

盗に押し入れられる時代である。そんな対応まで出来るのか。

かつて、たばこ屋などのお店に入つて、「この辺に金光教会はありませんか」と、地域にあつて「金光教会の知名度」を話し合ったことがある。街中になれば、こういうことも多少は「社会に開かれた教会」のイメージにつながりそうだが、住宅街にはいると、たばこ屋もお店もほとんど無くなつてしまつてゐる。

過日、新興宗教・聖神中央教会の少女暴行事件があつた。こういう宗教法人がらみの事件が起こる度に、金光教団の出来事ではないとホツとしてゐるが、果たしてそうだろうか。

世間の人は皆口を噤んでゐるが、何も問われることもなく、「あそこの教会とかは何をしているのか」と思

われてゐること自体、空恐ろしいことではないか。

北見教会

北見市寿町三丁目五番一号
TEL 〇一五七 一四 七四七四
FAX 〇一五七 一四 七四七四

地球規模で温暖化が進んでゐる今日、北見地方は降雪量も少なく比較的過ごしやすい冬ではありましたが、本州では桜が咲き誇つてゐる四月になつても、寒い日が続き日照も少なく、まだ畑には白い雪が多く見える春となつてゐます。

北見教会では、今年から少しでも祭典に参拝しやすいように、今までは、十二月三十一日午後十一時から越年祭を仕え、除夜の鐘と共に新年祭を仕えていたのを、越年祭を十二月三十日の午後一時三十分から、新年祭は元日の午前十一時からと

させていただくことにしました。また、月例祭は毎月三日と九日（一月と五月、十一月は除く）とし、月例霊祭を毎月第四土曜日に仕えさせていただきます。

教会の新年会が一月二十二日に行われました。参加人数は少なくなりましたが、このような状態でも、明年には「布教九十年」のお年柄をお迎えしますので、そのための奉賛会を結成しました。奉賛会長（日下慧氏）を中心に、今日まで北見教会にお勤めいただいた先生方や、先達信奉者の方々に、お礼をさせていただき、お祭りを心を込めて準備させていただきます。

北見教会天地金乃神大祭を五月三日の午前十一時三十分より執り行います。改めて日頃の自分勝手を詫び、毎日毎日が神様のご配慮の中で生活させていただいて

いることに、お礼をさせていただき、お祭りにしたいと思ひます。

十勝教会

池田町旭町一丁目九番地二二
TEL 〇一五五七 二二二三三
FAX 〇一五五七 二四二二三

今年はこの数年になく春の訪れが遅いようです。それでも四月に入つてからは、境内の雪も消え、雪の下で春を待ちこがれていた福寿草やフキノトウが満開です。さらに今年は、雪解けの境内にネズミに囓られた庭木がかなり見つかりました。この冬は山にエサが少なかったのか、それとも山にネズミが増えすぎたのか、わざわざ雪の下にトンネルを掘つて、裏山から遠征してきたようで、ネズミとはいえ遅いものです。新緑以外にも雪が解けて初めて目に見える「いのちの営み」でありました。

滝上教会

紋別郡滝上町元町土別通り

毎年、北海道も桜の開花で春になる。この桜の花が終ると、道東の芝桜やチューリップの季節が訪れる。この芝桜が咲く滝上公園の下に金光教滝上教会があつて、花の香かくわしき中で、滝上教会の「天地金乃神大祭」が毎年奉仕される。参拝者は毎年決まつてきているが、たまには道東の他の教会からの参拝者があつたりして、そういうことがあつると、参拝者も皆元気が出るようだ。

今年の滝上教会の大祭予定日は、五月二十八日から、五月三十一日(土)に変更しましたが、都合が付かれませんでしたら、花見もかねて参拝してください。

道東地区教会連合会役員

連合会規約により役員の変更が行われました。

昨年十一月末日を持って、玉置徳衛師が連合会長を任期満了で退任されました。

十二月十五日に連合会長選挙が行われ、矢代千春師(北見教会長)が連合会長に選任されました。

信徒会委員長は池亀徳和氏(釧路教会)が再任されました。

連合会役員(敬称略)
 会長 矢代千春
 副会長 江郷繁樹
 副会長(信徒会委員長) 池亀徳和

会計 菊川松次郎
 幹事 田中敬一
 玉置 衛

信徒会副委員長

横畠安男

三浦 弘

運動推進員 玉置千鶴子

平成十七年度総会報告

道東地区教会連合会平成十七年度総会が三月十三日、阿寒ビューホテルで開催されました。十六名の出席者があり、全議案が承認されました。主な内容は左記の通りです。

- 十六年度事業、決算報告
- 十七年度事業計画について
- あいよかけよの集い
- パークゴルフ
- 機関誌

十七年度予算

役員改選について

その他・連合会独自の研修会の開催について

出席者(敬称略)

江郷繁樹、池亀徳和、千葉利樹、木下憲臣、矢代千春、横畠安男、石田京子、玉置千鶴子、玉置衛、三浦弘、伊藤フミ子、田中敬一、今森勉、林敏明、菊川松次郎、新谷哲章

あいよかけよの集い

日時 6月19日(日)午後1時30分
 会場 釧路教会
 講師 西川 太先生(札幌南教会長)
 テーマ ころところの
 キャッチボール
 内容 お話と懇談

第5回道東地区教会連合会 交流パークゴルフ大会

日時 7月3日(日)
 会場 網走市原生牧場
 詳細は追ってご案内します。

道東地区教会連合会総会

平成 17 年 3 月 13 日 阿寒ビューホテル



矢代連合会長（右）、池亀連合会信徒委員長（左）の挨拶。



総会では、役員人事についての報告の後、前年度事業、決算報告がなされ、引き続き今年度の事業計画、予算についての審議が行われ了承されました。また、次年度以降の総会の形式、連合会独自の研修会の持ち方などについて提案がなされました。